

次期計画策定のポイントについて

- ・育児準備教室において、父親への妊娠、出産、育児における協力体制や妊婦の不安軽減と仲間作りの支援を実施
- 4. 配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実
 - ・幼稚園や保育所等に通園している障害や発達面で支援が必要な子どもへの巡回支援と、幼稚園教諭や保育士の支援技術向上のための“にじいろ個別支援システム”の実施
 - ・“子ども総合相談センター”や関係機関等と、児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に推進。増加、困難性が深まる虐待ケースに対応
 - 5. 地域における子どもの育ちの支援、安全に安心して子育てのできるまちづくりの推進
 - ・年々利用希望者が増加しつつある“放課後児童クラブ”の量的確保
 - ・少年補導員を中心とした地域における安心・安全の見守り活動の実施

- ・育児準備教室において、父親への妊娠、出産、育児における協力体制や妊婦の不安軽減と仲間作りの支援を実施
- 4. 配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実
 - ・幼稚園や保育所等に通園している障害や発達面で支援が必要な子どもへの巡回支援と、幼稚園教諭や保育士の支援技術向上のための“にじいろ個別支援システム”の実施
 - ・“子ども総合相談センター”や関係機関等と、児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に推進。増加、困難性が深まる虐待ケースに対応
 - 5. 地域における子どもの育ちの支援、安全に安心して子育てのできるまちづくりの推進
 - ・年々利用希望者が増加しつつある“放課後児童クラブ”の量的確保
 - ・少年補導員を中心とした地域における安心・安全の見守り活動の実施

- ・育児準備教室において、父親への妊娠、出産、育児における協力体制や妊婦の不安軽減と仲間作りの支援を実施
- 4. 配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実
 - ・幼稚園や保育所等に通園している障害や発達面で支援が必要な子どもへの巡回支援と、幼稚園教諭や保育士の支援技術向上のための“にじいろ個別支援システム”の実施
 - ・“子ども総合相談センター”や関係機関等と、児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に推進。増加、困難性が深まる虐待ケースに対応
 - 5. 地域における子どもの育ちの支援、安全に安心して子育てのできるまちづくりの推進
 - ・年々利用希望者が増加しつつある“放課後児童クラブ”の量的確保
 - ・少年補導員を中心とした地域における安心・安全の見守り活動の実施

- ・育児準備教室において、父親への妊娠、出産、育児における協力体制や妊婦の不安軽減と仲間作りの支援を実施
- 4. 配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実
 - ・幼稚園や保育所等に通園している障害や発達面で支援が必要な子どもへの巡回支援と、幼稚園教諭や保育士の支援技術向上のための“にじいろ個別支援システム”の実施
 - ・“子ども総合相談センター”や関係機関等と、児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に推進。増加、困難性が深まる虐待ケースに対応
 - 5. 地域における子どもの育ちの支援、安全に安心して子育てのできるまちづくりの推進
 - ・年々利用希望者が増加しつつある“放課後児童クラブ”の量的確保
 - ・少年補導員を中心とした地域における安心・安全の見守り活動の実施

＜子ども・子育て支援のニーズ調査よりー主なポイント＞

- ・身の回りの世話、主に子育てをしている家族「父母ともに」と回答した割合が51.4%と5年前より6%増加。主に母親と回答した者が52.9%から48.1%に減少。子育てで日頃悩んでいること、不安に感じること「しつけ」58.1%と「将来の教育費」49.6%と回答した割合が高く、5年前に比し、両方とも9.0%増加。
- ・地域子育て支援拠点の利用状況
- 5年前に比し、「地域の子育て支援拠点」利用の割合が19.3%⇒53.2%と約34%増となり、利用していない割合が大幅に減少
- ・望ましい子育て支援施策
 - (増)雇用形態、職場の見直し 23.4%⇒28.3%
 - 保育サービスの充実 30.0%⇒34.4%
 - (減)子どもの遊び場 40.0%⇒34.9%

- ・子育てに対する気持ち
- 「楽しい」と答えた割合が 46.5%⇒37.7%と約9%減
- ・子育てで日頃悩んでいること、不安に感じること「しつけ」55.9%、「将来の教育費」47.5%と回答した割合が高く、5年前の調査と同様の傾向。
- ・望ましい子育て支援施策
 - (増)子どもの遊び場 33.9%⇒36.5%
 - 仕事と家庭の両立支援 41.6%⇒43.6%
 - (減)経済的負担 51.2%⇒38.8%

- 1. 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり
- ・五感を使った“豊かなあそびを通じた学び”を方向とする「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」の策定
- ・「幼保小接続カリキュラム」の策定、乳幼児教育フォーラムの開催
- ・中学校での学力診断テストの実施
- ・学習サポートターの配置、学力診断テスト等の結果を生かした個に応じた学習指導の実施
- 2. 家庭における子育て力を高める取り組みの推進
 - ・「子育て支援基幹センター」地域の子育てひろば”子育て交流施設”において、親子の交流や学びの場、子育てサークルの育成、地域の多様な世代との交流を促進
 - 3. 安心して産み育てられる環境づくりの推進
 - ・乳幼児健康診査をはじめ、妊婦の健康管理の取り組み、産後の育児不安への相談支援などを充実

- 1. 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり
- ・五感を使った“豊かなあそびを通じた学び”を方向とする「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」の策定
- ・「幼保小接続カリキュラム」の策定、乳幼児教育フォーラムの開催
- ・中学校での学力診断テストの実施
- ・学習サポートターの配置、学力診断テスト等の結果を生かした個に応じた学習指導の実施
- 2. 家庭における子育て力を高める取り組みの推進
 - ・「子育て支援基幹センター」地域の子育てひろば”子育て交流施設”において、親子の交流や学びの場、子育てサークルの育成、地域の多様な世代との交流を促進
 - 3. 安心して産み育てられる環境づくりの推進
 - ・乳幼児健康診査をはじめ、妊婦の健康管理の取り組み、産後の育児不安への相談支援などを充実

- 1. 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり
- ・五感を使った“豊かなあそびを通じた学び”を方向とする「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」の策定
- ・「幼保小接続カリキュラム」の策定、乳幼児教育フォーラムの開催
- ・中学校での学力診断テストの実施
- ・学習サポートターの配置、学力診断テスト等の結果を生かした個に応じた学習指導の実施
- 2. 家庭における子育て力を高める取り組みの推進
 - ・「子育て支援基幹センター」地域の子育てひろば”子育て交流施設”において、親子の交流や学びの場、子育てサークルの育成、地域の多様な世代との交流を促進
 - 3. 安心して産み育てられる環境づくりの推進
 - ・乳幼児健康診査をはじめ、妊婦の健康管理の取り組み、産後の育児不安への相談支援などを充実

- 1. 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり
- ・五感を使った“豊かなあそびを通じた学び”を方向とする「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」の策定
- ・「幼保小接続カリキュラム」の策定、乳幼児教育フォーラムの開催
- ・中学校での学力診断テストの実施
- ・学習サポートターの配置、学力診断テスト等の結果を生かした個に応じた学習指導の実施
- 2. 家庭における子育て力を高める取り組みの推進
 - ・「子育て支援基幹センター」地域の子育てひろば”子育て交流施設”において、親子の交流や学びの場、子育てサークルの育成、地域の多様な世代との交流を促進
 - 3. 安心して産み育てられる環境づくりの推進
 - ・乳幼児健康診査をはじめ、妊婦の健康管理の取り組み、産後の育児不安への相談支援などを充実

＜関係機関による子育て支援体制検討会議のまとめより＞

- I 妊娠前から安心のつながり
 - ・妊娠前から出産・育児までの安心の居場所
 - ・先輩ママや子どもとの交流
 - ・専門的知見と当事者目線の寄り添い
- II 孤立しがちな家庭へのアプローチ
 - ・家庭へのアウトリーチや一時預かりの充実
 - ・地域と繋がる方法を一緒に考え伴走
- III 見えない不安・ニーズのキャッチ
 - ・相談支援体制の充実
- IV 父親・家族、次世代へのアプローチ
 - ・父親の意識向上
 - ・個だけでなく家庭全体像を捉える視点
 - ・意識関心が低い人へのアプローチ

- ＜計画実現のための推進的な取り組み＞
 - ・「乳幼児教育ビジョン」の周知・啓発
 - ・中・高校生と乳幼児親子とのふれあい交流事業の推進
 - ・「持続可能な放課後児童クラブの運営構想」に基づく、中長期的・持続可能な運営体制の確保

A. Bを踏まえて今後求められる施策の方向性

- 現計画の基本理念を継承
- 育てたい子ども像:自分自身を愛し、他の人を愛し生まれ育った地域を愛する「舞鶴っ子」
 - 基本的な政策目標:子どもの笑顔と子育ての喜びがあふれるまちづくり

1. 多世代にわたる子育てエンパワーメントの向上

児童期や成人・壮年期、高齢期など、様々な年代で子育てに関わる人材の子育て力を高め、市民総力を挙げて子どもの育ちを支える

2. 子どもの健やかな育ちを支える「人材育成」

子どもの育ちを支える関係機関・団体が、教育・保育等の質の向上を図り、発達段階に応じた豊かな成長を育む

3. 地域全体での子育て支援の推進

地域全体で妊娠から出産、子ども成長や家庭状況に応じ、0～18歳までの切れ目のない支援を推進する

4. 配慮が必要な子どもと保護者等に対する支援

虐待や非行の早期発見及び適切な保護に努めるとともに、子どもとその家族を見守り、支援体制の充実を図る

5. 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保

A 現計画の主な実績

B 問題・課題

<次期計画 子ども・子育て支援施策の体系骨子（案）>

【基本理念：前計画を継承】

- 育てたい子ども像：自分自身を愛し、他の人を愛し生まれ育った地域を愛する「舞鶴っ子」
- 基本的な政策目標：子どもの笑顔と子育ての喜びがあふれるまちづくり

【次期計画に向けた論点】

1. 多世代にわたる子育てエンパワーメントの向上

- 子どもの持っている「育つ力」を最大限に引き出し、子どもを元気にするとともに、成人・壮年期や高齢期など、様々な年代で子育てに関わる人材の子育て力を高め、市民総力を挙げて子どもの育ちを支える。
- 子育て力を高めることにより、支援する側における自己肯定感や自己有用感を高め、支援の連鎖につなげる。
- 退職後や子育て後のシニア世代の人材を子育て支援に携われる環境を整える。

〈ポイント〉 ループ型の子育て支援＝多世代にわたる子育て活動

- ・乳幼児期：人への信頼感、自己肯定感、自分を大切にした保育・教育（乳幼児教育ビジョン）
- ・児童期：学校生活や放課後児童クラブでの異年齢活動
- ・思春期：子育て学習プログラム、家庭科、総合的な学習の時間
- ・妊産婦、出産：家庭支援、保健センターでの健診等での学習
- ・成人・壮年期：PTA活動や保護者会、自主的な活動
- ・高齢期：放課後児童クラブや地域での子どもに関わる活動貢献

2. 子どもの健やかな育ちを支える「人材の育成」

- 幼稚園や保育所（園）、認定こども園、子育て支援団体、学校、放課後児童クラブ等、子どもの育ちを支える関係機関・団体が、自ら研修や資格の取得、新たな育成指標の作成等を通じて、教育、保育等の質の向上を図り、「乳幼児教育ビジョン」の推進などにより、発達段階に応じた豊かな成長を育む。

〈ポイント〉

- 保幼小連携研修、幼児教育・保育の質向上研修等
- 専門職等の人材確保とリーダー等の育成
- キャリアアップの取り組み
- 放課後児童支援員認定研修の受講 など

3. 地域全体での子育て支援の推進

○親が子育てについて責任をもつという認識のもと、子育て家庭が抱える不安や悩みを軽減し、ゆとりをもって子育てができるよう、市内関係機関が連携し、地域全体で妊娠から出産、子どもの成長や家庭状況に応じ、0～18歳までの切れ目のない支援を推進する。

○「NPO等市民活動団体やPTA関係団体との連携・協力」、「退職後や子育て後のシニア世代が地域において、より活動しやすい環境を整える」など、地域の人材を生かした活動を促進する。

○学校においては、登下校時の地域での見守り、コミュニティスクール、地域住民の学習参加など、地域に開かれた学校づくりを進めて行くことが求められ、学校・家庭・地域社会の連携による子育て支援の環境づくりを充実する。

〈ポイント〉

- ・妊婦健診・乳幼児健診、育児不安の軽減、食育の推進
- ・ワークライフバランス、子育てとしごとの両立
- ・事故・犯罪から子どもを守る地域の安全・安心確保
- ・託児や家事支援などのシェアリングエコノミーの充実
- ・総合的な学習の時間を活用した地域連携の取り組み
- ・地域の支え合いとネットワークの構築 など

4. 配慮が必要な子どもと保護者等に対する支援

○虐待や非行の早期発見及び適切な保護に努めるとともに、様々な事業を通じて連携を図り、子どもとその家族を見守り、支援する体制の充実を図る。

○ひとり親家庭等については、その生活の安定を図るため、社会的かつ経済的な自立に向けた支援を進める。

○成長や発達に支援が必要な子ども支援については、市内の専門機関等の支援のもと、あらゆる場面における様々なサポート体制を構築する。

〈ポイント〉

- ・児童虐待予防、防止対策
- ・社会的養護の必要な児童の連携支援
- ・幼稚園・保育所巡回支援
- ・医療的ケア児の支援 など
- ・ひとり親家庭等の支援
- ・青少年健全育成
- ・子どもの貧困対策

5. 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保策

○平成31年3月に実施した「舞鶴市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」に基づき、必要な事業量の見込みとその提供体制、その確保策等を掲げ、子ども・子育て支援事業を適切に提供できる体制充実を図る。

〈ポイント〉

- 教育・保育施設等に関する必要利用定員、提供体制の確保策
- 地域子ども・子育て支援事業の必要な事業量の見込み、提供体制の確保策 など

「舞鶴っ子」育成プラン策定スケジュール

6月

(第1回子ども・若者支援会議)

- ニーズ調査及び進捗状況等を踏まえた策定の趣旨説明
- 策定の方向性等についての協議

10月

(第2回子ども・若者支援会議 予定)

- 次期計画第I部、第II部第1章の素案の提示
- 素案（施策体系等）についての協議

12月

(第3回子ども・若者支援会議 予定)

- 次期計画第II部第2章、第3章の素案の提示
- 素案（量の見込み等）についての協議

2月

- 計画案に係るパブリックコメントの実施

3月

(第4回子ども・若者支援会議 予定)

- パブリックコメント等をふまえた最終案についての協議
- 計画策定